

ときわ学「防災 3 分アンケート」 集計結果

回答者数：630 名（QR コード 394 名、紙 236 名）

この度は、ときわ学防災 3 分アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

恩田、岬、常盤、琴芝の地区の方々から、幅広い年代の方々にご協力いただきました。ハザードマップや自分の避難場所は多くの人が知っており、懐中電灯をはじめとした停電対策は約 85% の人がしていました。

一方で、簡易トイレの準備（27%）や防災バッグ（31%）、家具の固定（22%）、モバイルバッテリー（60%）備蓄品の定期的な見直し（33%）、家族と防災について話す（35%）といった項目では、まだ対策の余地があると思われます。

大きな災害が起きた時に、断水や液状化、水道管の破損等でトイレが使えなかったという事例が報告されています。いざというときに被害が最小限にできるように、これから対策は必要となります。

常盤中学校の 3 年生が、現在 4 つのテーマで学習しています。それが、①避難所で使用する「段ボールベッド」、②水を使わずに使用できる「簡易トイレ」、③災害のときに持ち運べる「防災バッグ」、そして④災害に備えて日頃からもしもに備える「フェーズフリー」という考え方です。地域の自主防災会の方を講師としてお招きし、出前授業していただきました。

これから、地域の方に向けて、いろいろな対策の提案・発信をする予定です。まずは、ご家族で防災のことを話してみませんか？ 「もしも」に「今」、備えあれば、憂いなしです。

防災アンケート結果（円グラフ）

回答数：630 名

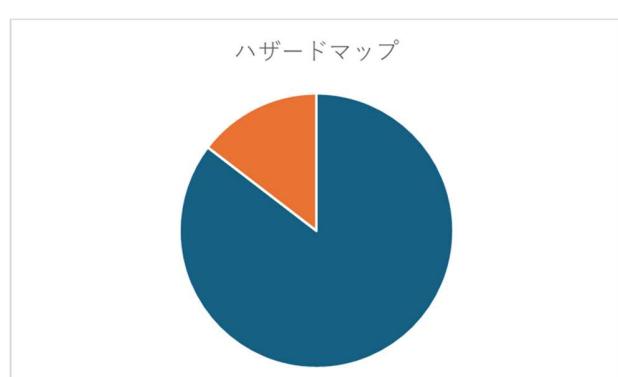
○質問 1. ハザードマップ*を見たことがありますか？

*災害の危険度を記した地図

はい 85%

いいえ 15%

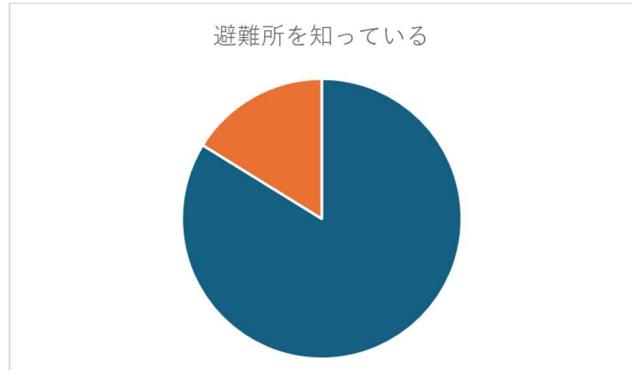
■ 1 はい ■ 2 いいえ



○質問2、自分の避難所がどこか、知っていますか？

はい 84%

いいえ 16%

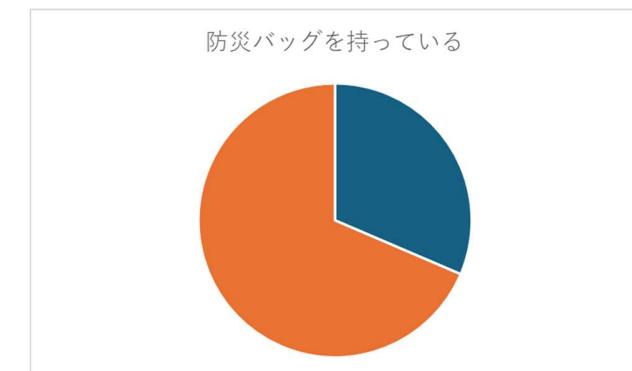


○質問3、防災バックをもっていますか？

*防災バッグとは、災害時に備えて日用品や食料品などを詰めた非常用の持ち出し袋やリュックのことです。防災セットや非常袋ともいわれます。

はい 31%

いいえ 69%

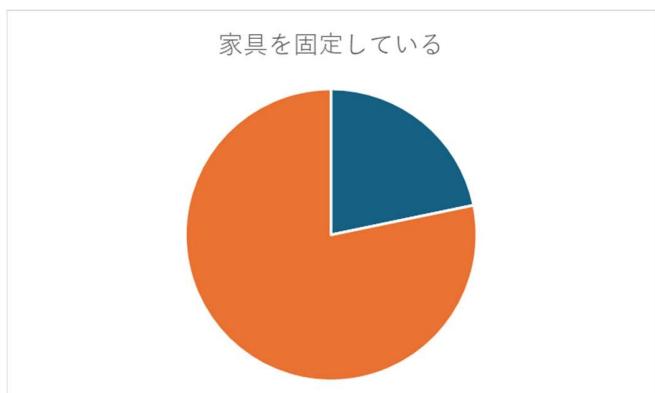


○質問4、家の家具を固定していますか？

例) 冷蔵庫、食器棚、タンス等

はい 22%

いいえ 78%



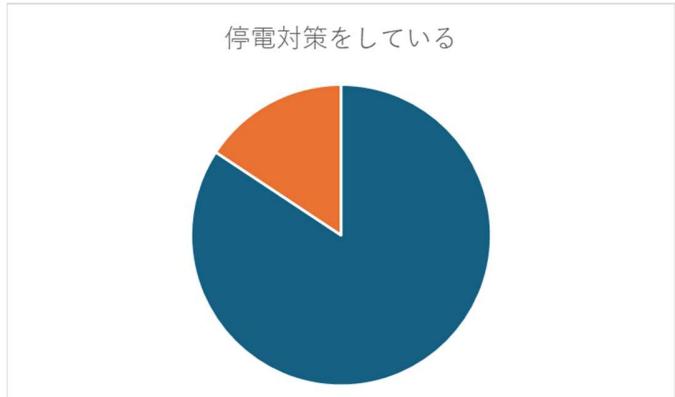
○質問5、停電対策をしていますか？

例) 懐中電灯

人感センサー付きライト等停電対策

はい 84%

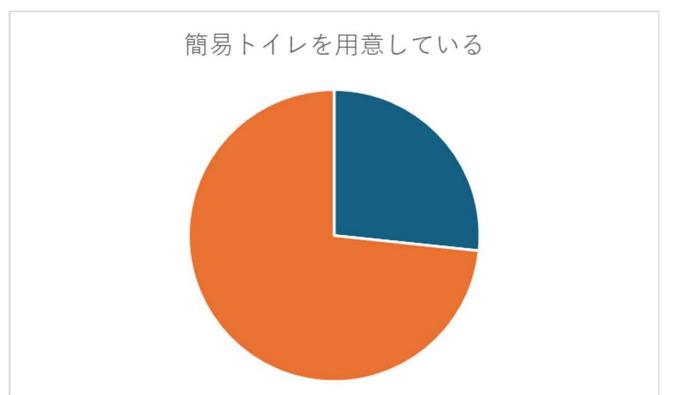
いいえ 16%



○質問6、簡易トイレを用意していますか？

はい 27%

いいえ 73%



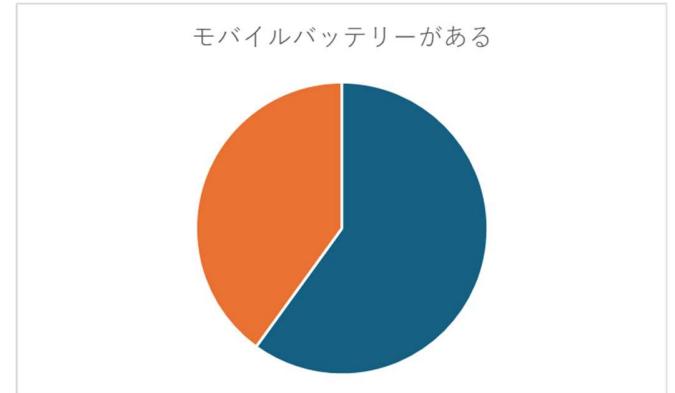
○質問7、モバイルバッテリー*がありますか？

*停電時でも、携帯やライトを充電できる

携帯できる予備電源

はい 60%

いいえ 40%



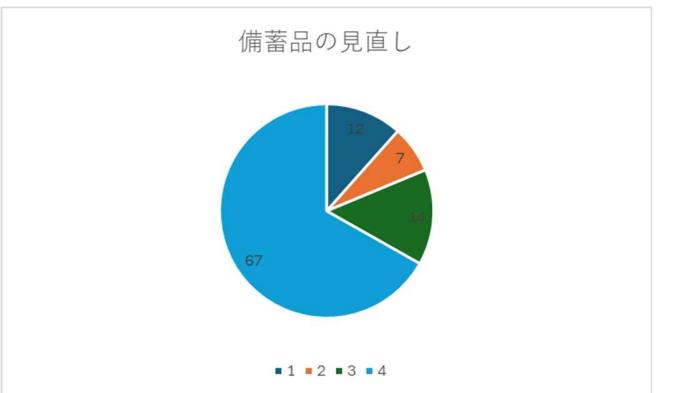
○質問8、備蓄品を定期的に見直していますか？

1、年1回 12%

2、季節ごと 7%

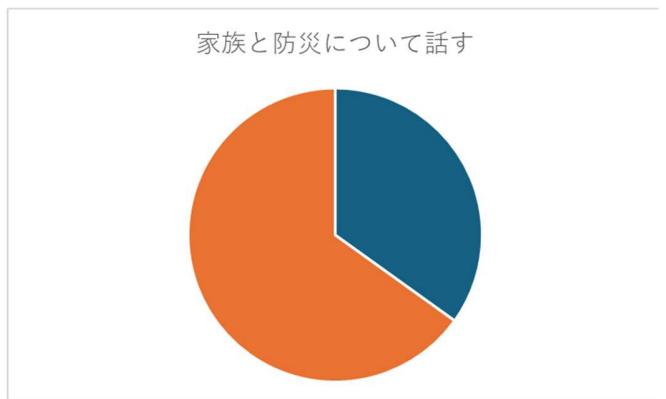
3、日頃から 14%

4、いいえ 67%



○質問9、家族と防災について、話し合っていますか？

はい 35%
いいえ 65%



○質問10、防災に関して、心配なこと、もっと知りたいことがあれば、記入してください。

<アンケート自由意見欄>

- ・体育館が避難所になっていますが暑さ、寒さに耐えられないので対策が必要だと思います。地域にいる防災士の人や県や市で防災対応される人の話を聞いてみるといいのではないか。
- ・避難ルート 災害が起きた際の安全な道を知りたい
- ・津波について知りたい(住んでいる地区)
- ・ほとんど何もしてない事がわかった。
- ・災害時は人とのつながりや助け合いが大切になると思うが、昔より近所との付き合いが減ってきていて、あまりつながりを感じられない。もっとつながりたいが、そういう時代ではないのではと思うと自ら行動に移し辛い。
- ・南海トラフ地震が心配です。準備しようと思いました。
- ・意識が低いのでもっと防災に対しての意識を高めたい
- ・子どもに障害があり、避難所などの集団生活がトラブルなく送れるかとても不安。
- ・なんとなく、ここは大丈夫と思っている自分がいるので、もっとリアルに想像して家族と意見を共有しておきたいと思いました。
- ・心配なこと/非常バックを日用品,備蓄品を見直しながら作っておきたい
- ・登下校中に災害に遭ったとき、どこに逃げたらいいかわからない。
- ・何を準備しとけばいいか分からない

- ・昨年の台風の際、ビジネスホテルに連泊避難しましたが地元のビジネスホテルはなかなか利用する機会がないので検索して探すのが大変でした。いざという時の避難宿泊施設も何か情報あれば知りたいなと思いました。予約は小学校の臨時休校連絡が入って直ぐにしました。
- ・うちは息子が障がい（自閉スペクトラム症&重度知的障害）があるため、避難するよりできるだけ事前に対策して、自宅にいたいと思っています。でも、もし自宅にいることが難しいような災害にあったときは、安心して避難できる福祉避難所がそばにあると嬉しいなと思います。
- ・関東にいた時は小学校の持ち物として防災頭巾があり普段は椅子の背もたれのクッションにしていました。山口へ引っ越してきて防災頭巾がないと聞き、地域差があるなと感じました。地震があまりない地域だからこそいざという時の対応や持ち物が心配です
- ・南海トラフ以外の地震の発生確率を知りたい。（南海トラフは分かっているから）
- ・隠れ断層がないか心配。
- ・南海トラフなどの自宅周辺の被害予想
- ・うちの子は小学生ですが、災害時の子どもの引き取りについて、具体的にどのように行われるのかを知りたい。最悪のケースも考え、メールが使えないなどの時も考えてもらえると嬉しいです。
- ・土地勘が無いので津波が来たら、低い建物ばかりでどこに逃げれば良いのか分からない。
- ・親が仕事等で留守にしている時や放課後外で遊んでいる時に災害があった場合、子供にどのように行動させるのがいいのか、悩んでいます。
色々な状況下を想定して、行動パターンを考えたり学べる機会があればいいと思う。
- ・災害についてみんなで意見を出し合って考えたり、シミュレーションすることはとても大事で、いざ災害が起こった時、すぐ行動できるかどうかは、知識や学びによるものだと思う。
- ・子供達にも小さい時から災害について、他人事ではなく、きちんと学んで欲しいです。
- ・地域の避難訓練
- ・食べ物や飲み物が足りるのか不安
- ・マンション住みで自治会に入っていない為、避難した時に支援が受けられるのか不安。
- ・障害児がいるので、いざというときに避難所に行けば迷惑になるのではと心配しています。
できるだけ家にいれるように、防災グッズは全て揃えていますが不安はあります。

- ・非常食を食べてみたい。
- ・準備しようとお願います。
- ・どんな食料を、どれくらい備蓄すればいいかが分からず。
- ・液状化について知りたい
- ・ときわ学に興味ありますとき中のみなさん頑張ってください。協力します。応援してまーす
- ・防災に関して日頃から関心、準備などをしていますが、実際に災害が起こった場合、冷静に行動ができるのかはかなり不安です。

＜紙での提出者＞

- ・暗くなった時、実際に動くことができるか心配
- ・ペットも連れていけるとよいと思います。
- ・過去の災害についてハザードマップ以外で実際にあった災害マップ、空港等、
水没した台風の水没マップ
- ・何をもって出るか、知りたい。くつも。
- ・ペットがたくさんいるので、避難所に行けないと思うこと。
- ・用意する量がわからない、水、トイレ、食
- ・自主防災会の認知度が低い
- ・恩田地区は、災害は少ないので、防災に対する意識が低い。住民に対して日頃からの意識付けが必要
- ・家の前が川。台風等年1回あふれる。
- ・集中豪雨
- ・耐震家屋ないので、強震には不安
- ・避難所が遠すぎる。
- ・具体的に知りたいと思います。
- ・日頃から防災について関心を持ちたいとおもいました。
- ・水の心配はありません。身内が近くにいるので少し安心。

- ・独居のため、子供たちに連絡するも地震の際…
- ・優良事例、具体的な動き
- ・日本各地でいろいろ災害がおきていますが、自分の住んでいるところは大丈夫かな…
と思っているのが現実です。もう少し自覚したいと思います。
- ・家族の安否や住まいの災害やインフラの停止など
- ・“地域でどんなものが備蓄があるかを 知りたいです。結局自分たちで用意をしなければならないことをもっとみんなが知っておくべきだと思います。”
- ・高齢の母が避難生活を送れるか心配

以上

防災 3分アンケート【中3ときわ学】

こんにちは。宇部市立常盤中学校3年生が、今年度「総合的な学習の時間（ときわ学）」で「防災」をテーマに学習しています。そこで、地域の現状を把握するため、今時点での地域のみなさまの防災対策状況をお聞かせください。ご協力どうぞよろしくお願ひいたします。

●住んでいる地域に○をつけてください。

- 1、恩田地区 2、岬地区 3、常盤地区 4、琴芝地区

●あなたの年齢に○をつけてください。

- 1、10歳以下 2、10代 3、20代 4、30代 5、40代
6、50代 7、60代 8、70代以上

○質問1、ハザードマップ*を見たことがありますか? (1、はい、 2、いいえ)

*災害の危険度を記した地図

○質問2、自分の避難所がどこか、知っていますか? (1、はい、 2、いいえ)

○質問3、防災バックをもっていますか? (1、はい、 2、いいえ)

*防災バッグとは、災害時に備えて日用品や食料品などを詰めた非常用の持ち出し袋
やリュックのことです。防災セットや非常袋ともいわれます。

○質問4、家の家具を固定していますか? (1、はい、 2、いいえ)

例) 冷蔵庫、食器棚、タンス等

○質問5、停電対策をしていますか? (1、はい、 2、いいえ)

例) 懐中電灯・人感センサー付きライト等

○質問6、簡易トイレを用意していますか？ (1、はい、 2、いいえ)

○質問7、モバイルバッテリー*がありますか？ (1、はい、 2、いいえ)

*停電時でも、携帯やライトを充電できる携帯できる予備電源

○質問8、備蓄品を定期的に見直していますか？

(1、はい（年1回）、2、はい（季節ごと）3、はい（日頃から） 4、いいえ)

○質問9、家族と防災について、話し合っていますか？ (1、はい、 2、いいえ)

○質問10、防災に関して、心配なこと、もっと知りたいことがあれば、記入してください。

ご協力ありがとうございました。同様のアンケートを秋に実施予定です。

その際には、ご協力いただけますと幸せます。